

# 令和6年 日田市観光動態調査報告書

令和7年3月31日

一般社団法人日田市観光協会

## 1 調査概略

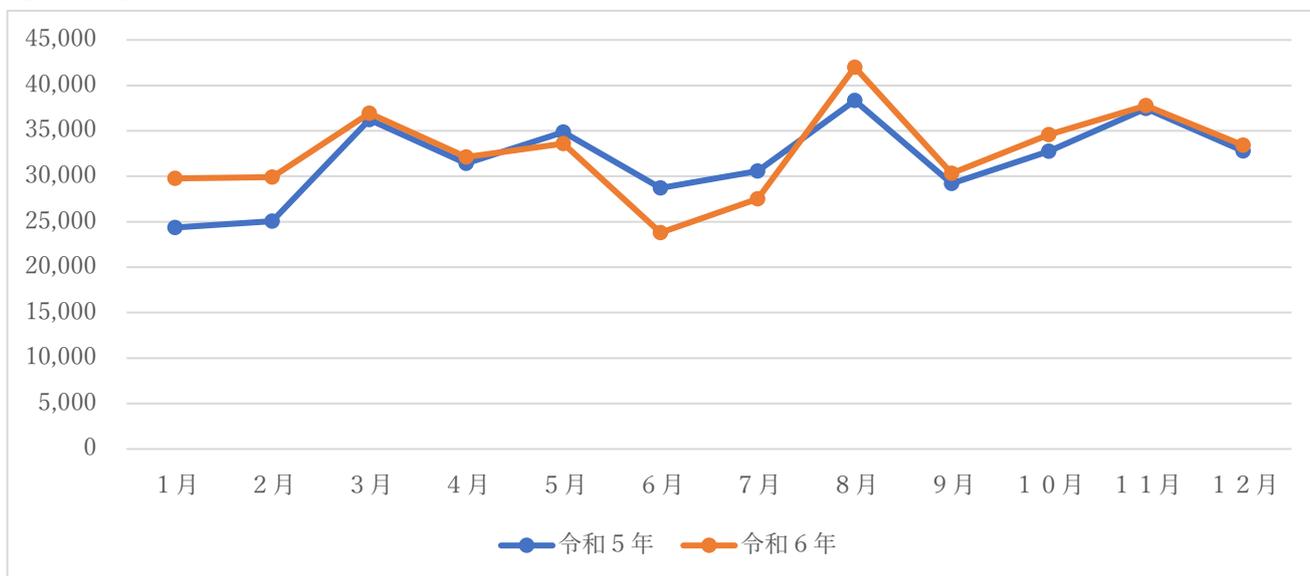
この調査は、令和6年（1月～12月）の市内の主要な宿泊施設の宿泊者数及び、主要観光施設の来館者数、イベント・祭り来場者数を用いて調査したもの。

- ・令和6年の宿泊客数は391,722人で、令和5年と比べ2.6%増加した
- ・令和6年の国内宿泊者数は295,257人で、令和5年と比べ4.2%減少した。  
また、国内宿泊客の構成を発地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く（構成比31.5%）、次いで大分県内（12.0%）、その他九州（県内・福岡県除く）（構成比17.9%）となった。
- ・令和6年外国人宿泊客数は96,465人で、令和5年と比べ31.3%増加した。

### 宿泊客の動向

令和5年と比較すると微増だが、令和元年と比較すると約7万人（16%）減である。要因としては、宿泊施設の減少および提供客室数の低下、国内宿泊客の減少が考える。

【図表1】令和6年月別宿泊数 ※日田市観光統計より



## 2 宿泊客数の動向

令和6年の国内宿泊客数は、令和5年と比べ4.2%減少した。【図表2】

月別では6月、7月が対前年を大きく下回っている。【図表3】

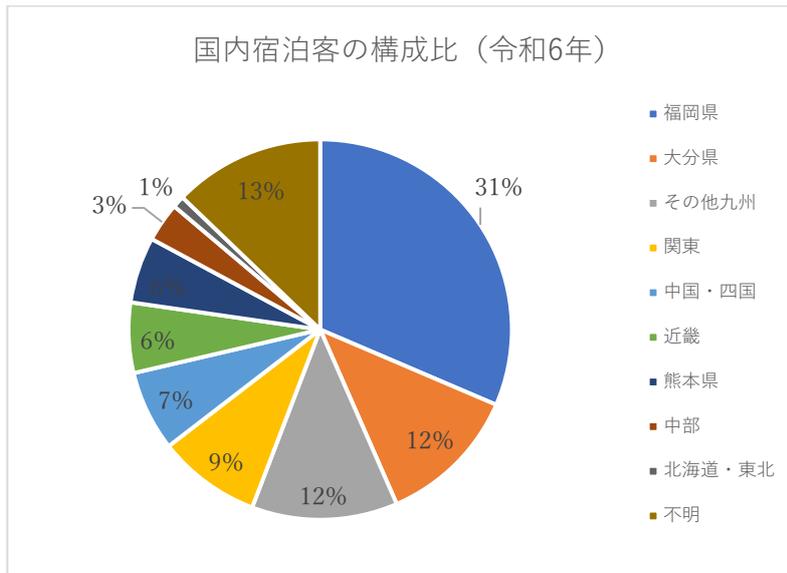
発地別に見ると福岡県からの宿泊客数が最も多く31%を占め、次いで大分県内が12%、その他九州が12%の順となっており、近隣からの宿泊客が約半数を占める状況である。【図表2】

地区別宿泊客数は、日田・天瀬両地区で3、5、8、11月にピークが来ている。特に天瀬地区について11月のピークが最少の6月の約2倍となっており、繁閑差が大きい。【図表4】

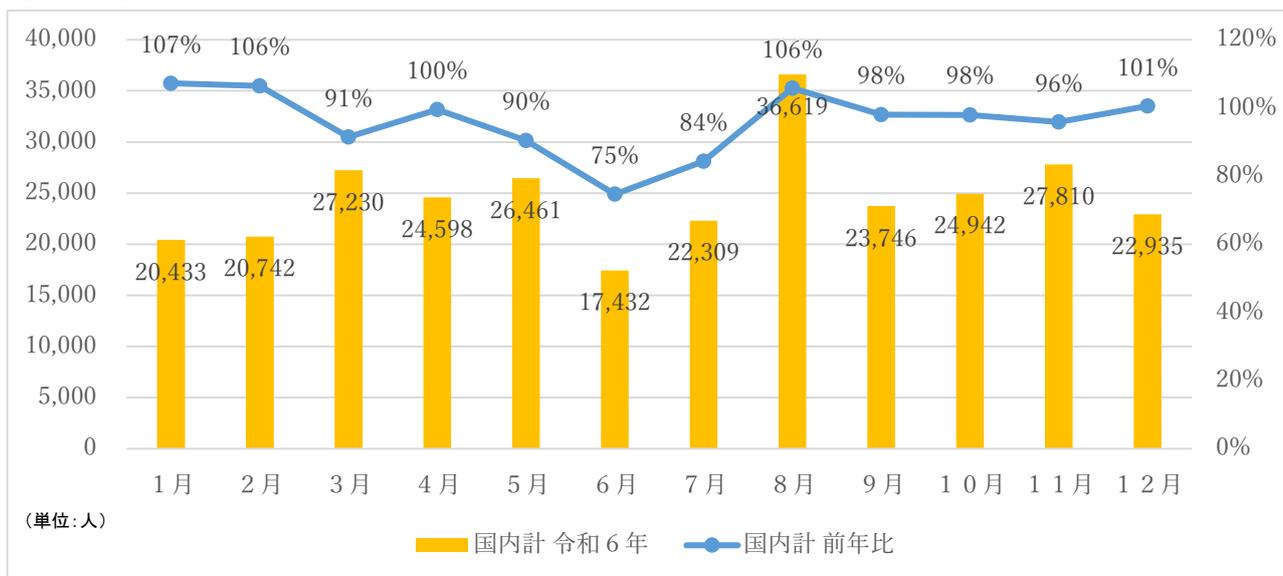
また、日田地区は令和元年と比べ約6%減、天瀬地区は令和元年と比べ19%減、奥日田地区は令和元年と比べ28%減となった。コロナ禍に加え令和2年7月豪雨による宿泊施設の休業や宿泊客室数の減少による影響が大きいとみられる。【図表5】

【図表 2】国内発地別宿泊客数及び構成比※日田市観光統計より

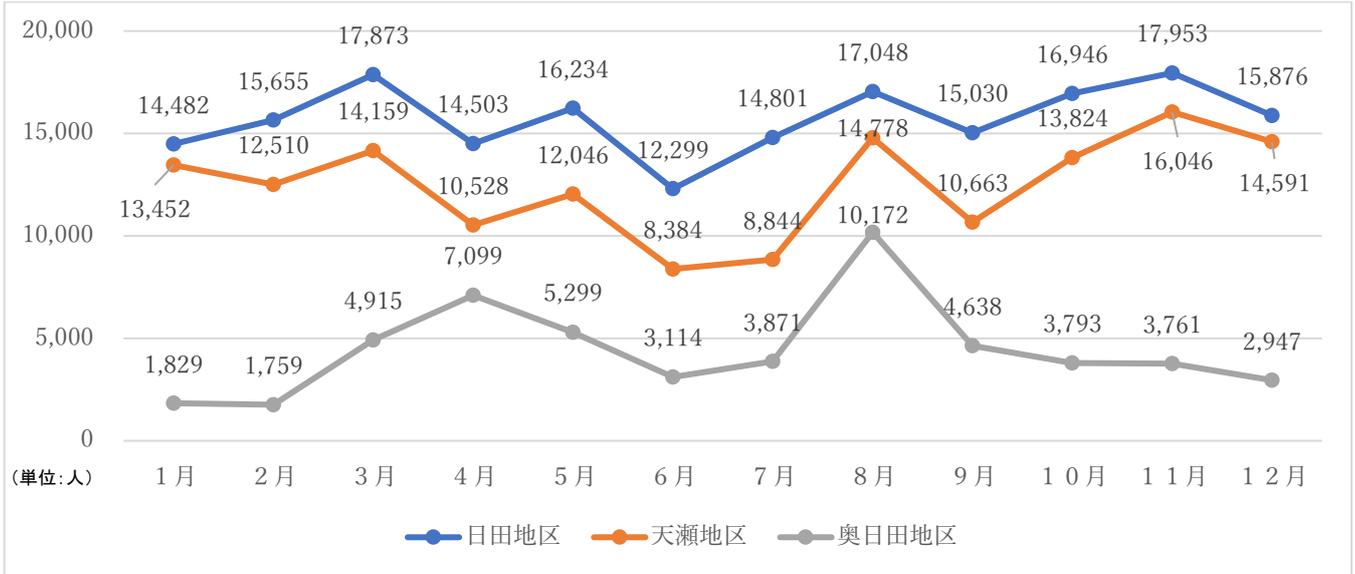
	令和5年	令和6年	前年比
福岡県	102,061	92,919	91%
大分県	42,983	35,410	82%
その他九州	37,188	36,351	98%
関東	29,263	25,774	88%
中国・四国	19,016	20,135	106%
近畿	19,853	17,630	89%
熊本県	17,558	16,555	94%
中部	9,297	9,804	105%
北海道・東北	3,288	2,981	91%
不明	27,744	37,698	136%
国内計	308,251	295,257	96%



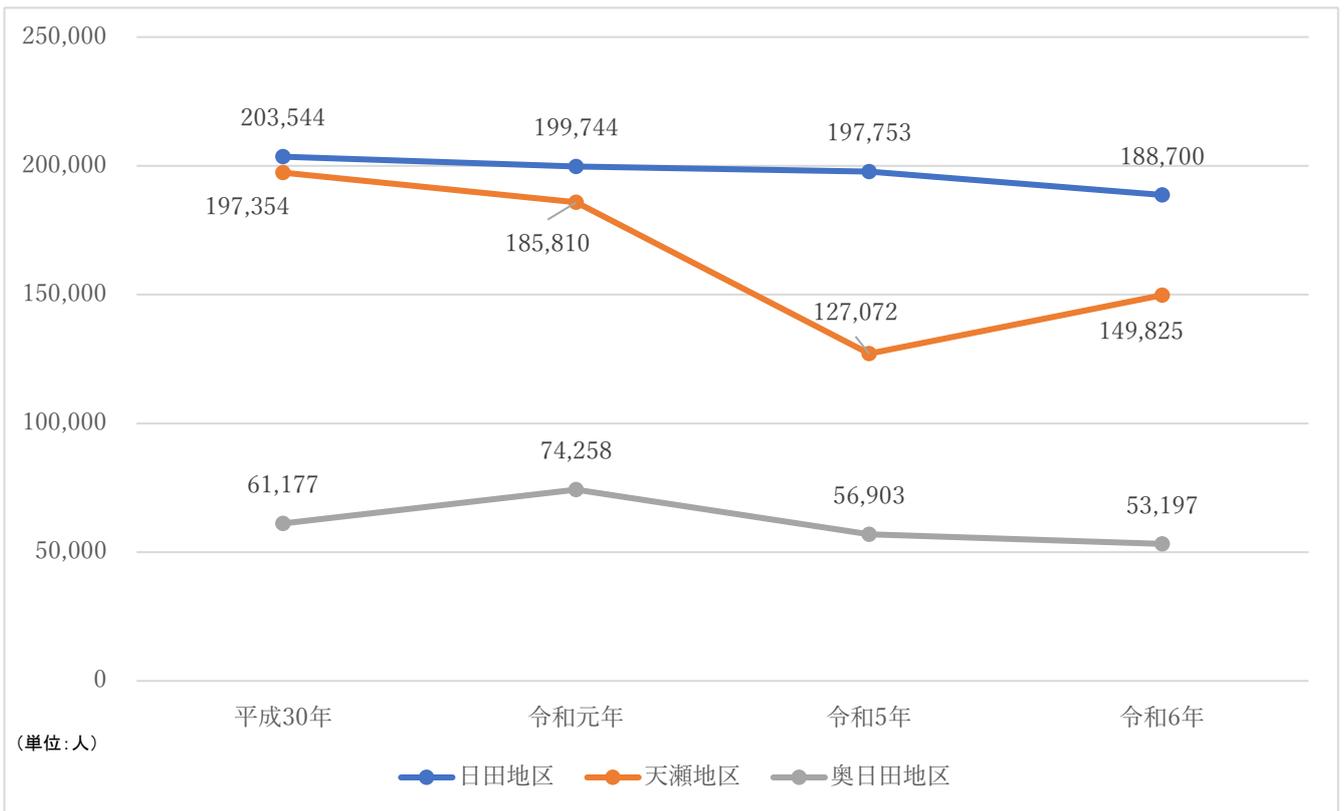
【図表 3】令和 6 年国内宿泊客数※日田市観光統計より



【図表 4】 令和 6 年地区別宿泊客数の月推移※日田市観光統計より



【図表 5】 地区別宿泊者数の年推移※日田市観光統計より

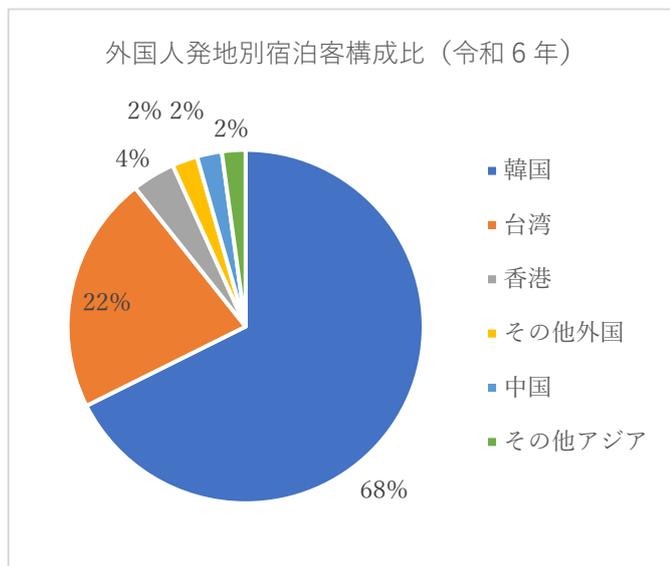


令和6年の外国人宿泊客数は、令和5年と比べ31%増加した。【図表6】

外国人宿泊客の国籍・地域別構成比を見ると、韓国からの宿泊客が最も多く、外国人宿泊客全体の68%を占める。次いで台湾、香港の順となっており、香港、タイ・マレーシア等のその他アジアを含めたアジア圏で約9割以上を占めている。【図表6】

【図表6】外国人発地別宿泊客数及び構成比（日田市観光統計より）

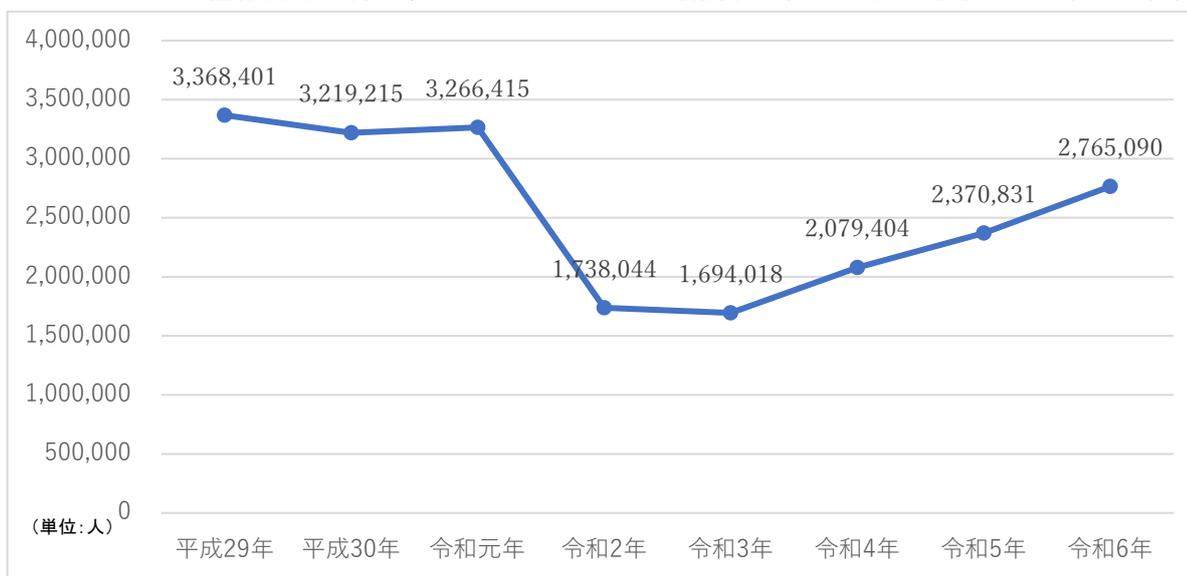
	令和5年	令和6年	前年比
韓国	48,183	64,450	134%
台湾	15,832	20,746	131%
香港	3,610	3,744	104%
その他外国	1,528	2,203	144%
中国	1,417	2,155	152%
その他アジア	2,324	2,041	88%
不明(外国人)	583	1,126	193%
国外計	73,477	96,465	131%



### 3 日帰り観光客の動向

【図表7】日帰り観光客数の推計値（日田市観光統計より）

※RESASの仕様変更に伴い、RESASを用いた推計が不可となったため日田市観光統計を用いる。



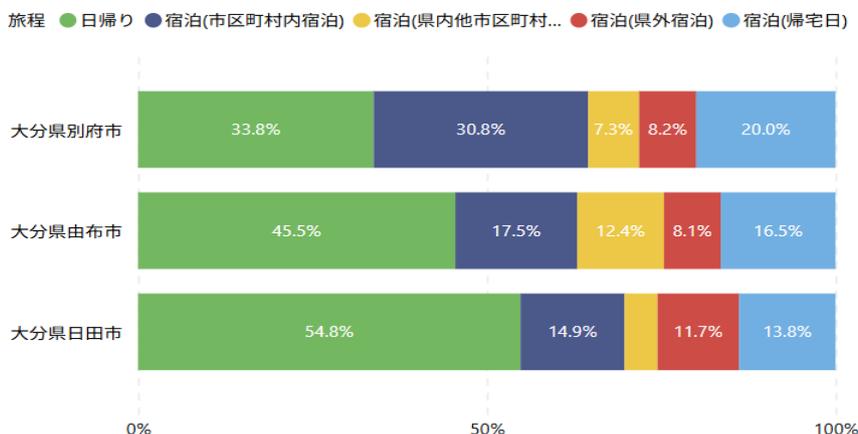
#### 4 宿泊客と日帰り観光客の割合

宿泊率は令和元年から 12.4%となった。例年、本市の観光入込客の 10～15%が宿泊客であり、周辺観光地と比較すると宿泊観光客の割合が少なく、立ち寄り地となっている。宿泊率向上につながる観光施策が必要と考えられる。【図表 8】【図表 9】

【図表 8】 宿泊客と日帰り観光客の割合 ※日田市観光統計より

	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
総数	3,848,573	3,681,290	3,726,227	1,960,848	1,912,341	2,398,199	2,752,559	3,156,812
日帰り	3,368,401	3,219,215	3,266,415	1,738,044	1,694,018	2,079,404	2,370,831	2,765,090
宿泊	480,172	462,075	459,812	222,804	218,323	318,795	381,728	391,722
宿泊率	12.5%	12.6%	12.3%	11.4%	11.4%	13.3%	13.9%	12.4%

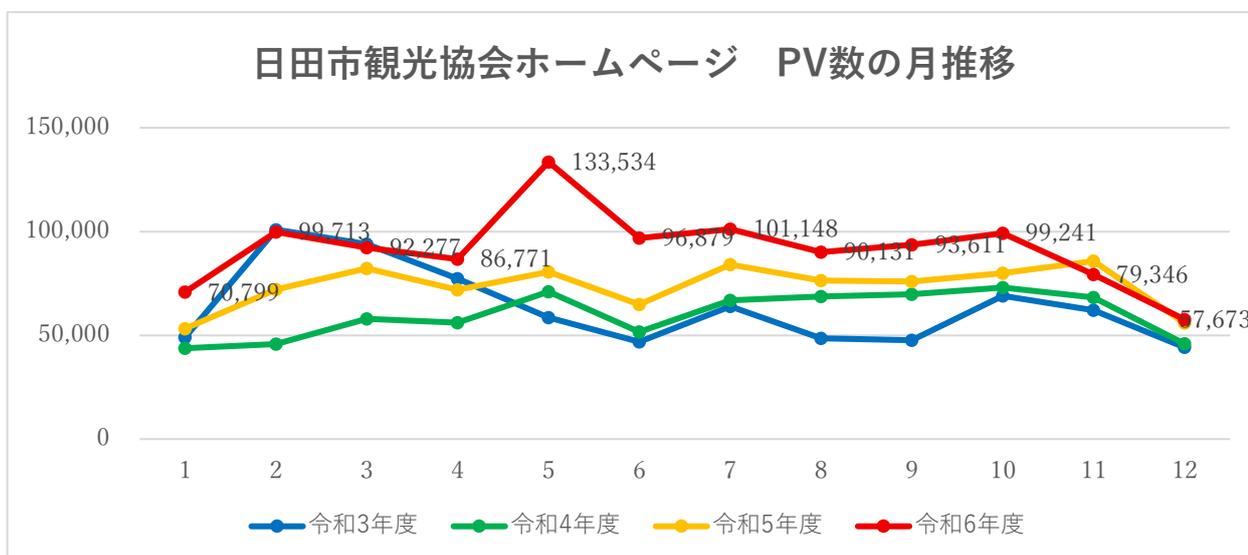
【図表 9】 他自治体との観光入込客の比較（令和 6 年）※おでかけウォッチャーより



#### 5 日田市観光協会ホームページのアクセス状況

コロナ禍以降、順調にPV数は増加してきており、令和元年を上回るまで回復している。【図表 10】

【図表 10】 ページビュー（PV）数の推移



## 6 観光消費額と経済波及効果

### 1) 観光消費額（推計）

令和6年の観光消費額：409億3,685万円

令和6年の旅中アンケート調査から得られた1人当たり観光消費額から算出した令和6年の観光消費額は409億3,685万円となった。

#### ① 令和6年 旅中アンケート調査結果から推計する1人当たりの観光消費額及び大分県観光実態調査報告書（令和5年度）からみる大分県内での1人当たり観光消費額

	日田市内（前回調査）	大分県内
日帰り旅行	8,500円（9,749円）	6,642円（6,372円）
宿泊旅行	44,505円（21,978円）	54,312円（49,602円）

#### ② 日帰り観光客推計値及び市内宿泊客数から算出する観光消費額

令和6年	入込客数	観光消費額（推計）
日帰り観光客	2,765,090人	235億326万円
宿泊観光客	391,722人	174億3,358万円
（合計）	3,156,812人	<b>409億3,685万円</b>

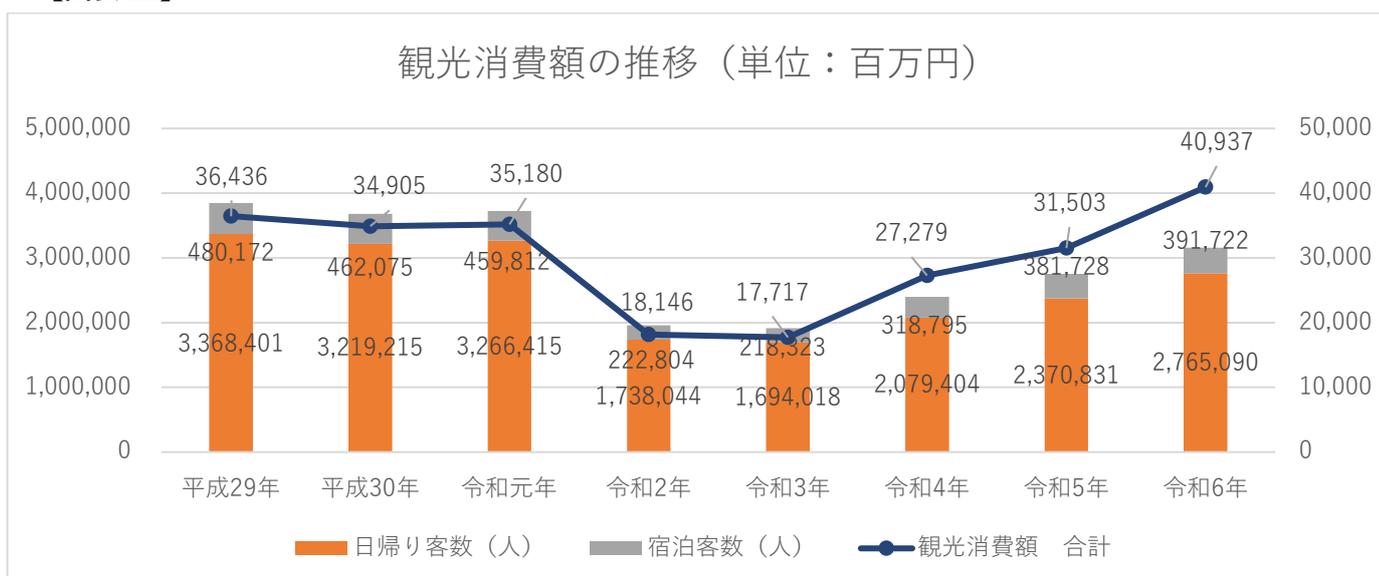
※日田市の観光消費額を算出する上での観光入込客数は、日帰り観光客、宿泊客数ともに日田市観光統計の数値を使用する。

### 2) 令和6年の経済波及効果（生産誘発額）

令和6年総合効果：1,032億5,199万円

※大分県経済波及分析ツール観光消費Ver2（平成27年）を利用。

【図表 11】



※大分県経済波及分析ツール観光消費Ver2（平成27年）を使用し、一人当たり観光消費額は旅中調査結果のを使用し算定した。

<MEMO>